

平成23年～平成27年の9～11月(秋山)における山岳遭難事故発生場所

＜秋季ハケ岳4件の死亡事故のうち、最多の死亡原因是発病と滑落です！＞

○「適正な登山計画づくり」、「体調がすぐれないときに無理をしない」等の取組で事故を防ぎましょう。

○特に頂上付近での滑落は生死にかかるため、十分気を付けましょう。

＜台風や寒冷前線の動向に注意し、防寒対策をしっかりと！＞

○登山には適した気候ですが、台風の接近や寒冷前線の通過時には天気が崩れ、強風が吹き荒れるため注意が必要です。また、頂上付近は冷え込むため、防寒対策をしっかりとしましょう。

＜転落、スリップ、落石に注意＞

○横岳、赤岳、阿弥陀岳稜線、地蔵尾根の各岩場、県界尾根の大天狗～赤岳及び赤岳天望荘への回り道、大同心・小同心、文三郎新道はしご場上部～赤岳頂上直下は転落に注意しましょう。南ハケ岳一帯は岩質がもろいため、落石・浮石にも注意してください。

○蓼科山将軍平～山頂の登山道は傾斜した1枚岩があり、スリップに注意してください。7合目登山口～頂上は落石に注意が必要！

北ハケ岳では発病や転倒事故に注意



【将軍平周辺】発病により行動不能（1件）
【ザンゲ坂付近】浮石に乗り転倒、軽傷（1件）

【蓼科山頂上付近】発病により死亡（1件）

【北横岳周辺】山小屋で滞在中に発病（1件）

【縞枯山展望台付近】発病で行動不能（1件）

【大石峠付近】縞枯山から登山中道迷い（1件）

【賽の河原周辺】
下山中バランスを崩し転倒、負傷（1件）



南八ヶ岳での下山中の滑落事故多し

